

製品名: PTH-rP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16652**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	PTHLH
別名	Parathyroid hormone-related protein (PTH-rP) (PTHrP) (Parathyroid hormone-like protein) (PLP) [Cleaved into: PTHrP[1-36]; PTHrP[38-94]; Osteostatin (PTHrP[107-139])]
遺伝子 ID	5744.0
SwissProt ID	P12272
免疫原	抗血清はヒト PTHLH の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

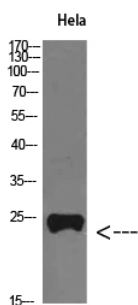
背景

副甲状腺ホルモン様ホルモン(PTHrP) ホモ・サピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、副甲状腺ホルモンファミリーの一員です。このホルモンは、受容体 PTHR1 を介して、乳腺および歯の形成過程における軟骨内骨の発達と上皮間葉系相互作用を制御します。悪性腫瘍による体液性高カルシウム血症のほとんどの症例に関与しており、この遺伝子の変異は短指症 E2 型(BDE2)と関連しています。この遺伝子には、選択的スプライシングによる転写バリエーションが見つかっています。また、開始コドン AUG の下流にある非 AUG (CUG および GUG) 開始部位からの選択的翻訳開始の証拠があり、その結果、このホルモンの核型が形成されます。[RefSeq 提供、2013 年 11 月],代替産物:追加のアイソフォームが存在すると思われる,疾患:HHM (悪性腫瘍による体液性高カルシウム血症) 患者の多くの腫瘍によって産生される。機能:細胞および臓器の成長、発達、移動、分化、生存、および上皮カルシウムイオン輸送の重要な制御因子である神経内分泌ペプチド。乳腺および歯の形成中に、軟骨内骨の発達および上皮間葉系相互作用を制御する。機能:オステオスタチンは、破骨細胞による骨吸収の強力な阻害剤である。PTM:最初の翻訳産物のエンドプロテアーゼによる切断によって生じる PTHrP[1-36]、PTHrP[38-94]、およびオステオスタチン (PTHrP[107-139]) と呼ばれる 3 つの主要な分泌型がある。これらの分泌型はそれぞれ、正常な傍分泌、自己分泌、および内分泌作用を媒介する 1 つ以上の受容体を持つと考えられています。類似性: 副甲状腺ホルモンファミリーに属します。組織特異性: 普遍的に存在し、乳腺にも発現します。 ,

研究分野

シグナル伝達、成長因子/ホルモン、ホルモン、細胞生物学、細胞周期、細胞分化、幹細胞、間葉系幹細胞、表面分子

画像データ



PTH-rP ポリクローナル抗体 (1:800 希釈) を用いた Hela 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。